

常任委員会 特別委員会



津別小学校旧校舎長寿命化改修工事現場の現地視察(11/2)



バイオマスセンター等建設予定地現地視察(11/5)

総務文教常任委員会

第6回(11月2日)

- ・町内視察結果について
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・職員等の旅費に関する条例の一部改正について

第7回(12月2日)

- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業内容について
- ・社会体育施設(津別町民ゲートボール場)の廃止について

産業福祉常任委員会

第6回(11月5日)

- ・町内視察結果について
- ・高台低区配水池更新事業について

第7回(12月3日)

- ・公の施設に係る指定管理者の指定について(森の健康館及び山村体験宿泊施設)
- ・小規模企業経営安定資金融資条例及び規則の廃止について

- ・国民健康保険条例の一部改正について
- ・簡易水道事業給水条例の一部改正について
- ・個別排水処理施設管理条例の一部改正について

- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業内容について

議会広報常任委員会

第8回(12月2日)

- ・まちなか再生事業調査特別委員会チラシの編集について

第1回(1月13日)

- ・議会報184号の編集について

議会運営委員会

第10回(12月1日)

- ・第9回津別町議会臨時会の運営について
- ・令和2年度各会計決算の認定について

第11回(12月9日)

- ・第10回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

第12回(12月15日)

- ・第10回津別町議会定例会の運営について
- ・追加議案の取り扱いについて

まちなか再生事業調査特別委員会

第7回(11月17日)

- ・まちなか再生について

第8回(11月24日)

- ・まちなか再生について

議会の録画映像を配信しています

インターネットを利用した録画配信を行っています。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

※令和3年6月定例会より「YouTube」による配信に変更し、映像がきれいになりましたので、ぜひご視聴してみてください。

〈津別町ホームページ〉

<https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



QRコードからも
アクセスできます。



町長行政報告

報告された事項

第10回定例会

(12月15日)

- 全国肉用牛枝肉共励会優秀賞の受賞
- 北海道開発局道の駅ランキング「道の駅あいおい」のクマヤキ入賞
- 令和3年度北海道国民健康保険団体連合会表彰
- 新美南吉童話賞最優秀賞の受賞
- 令和2年国勢調査結果
- 高齢者に対するお祝い
- 丸玉木材株式会社からの寄附
- 建設工事等の発注状況

第7回目となる議会報告会を11月11日「昼の部・夜の部」を町民会館で開催し、昼・夜合わせ28人の参加の中、議会の役割・構成・各常任委員会・特別委員会の開催状況などを報告し、町政や議会に対するさまざまな意見・要望が出され、有意義な意見交換会となりました。
 なお、寄せられたご意見等を次のとおり項目ごとに整理しました。



を開催

まちなか再生事業について

参加者の意見

アルファコートとの随意契約で計画内容が変わったが、そのままアルファコートで進めていくことは大丈夫なのか心配している。随意契約は、法的に問題ないのか。

議会の回答

アルファコートとの契約について、现阶段の調査・設計に問題ないと認識です。今後は、アルファコートとどのような協定や契約になっていくのかということを議論していきたいと思えます。

参加者の意見

今までは、行政と議会が合意すれば進められたが、この問題に関しては、町民の合意が必要ということになっていく。民主主義的合意形成をしつかり図ってほしい。

議会の回答

まちなか再生は、特に重要な事業で町民の合意が必要であることは十分承知していません。町に要望しているのは、住民懇談会を再度開くべきだと要請しています。

参加者の意見

町民からの合意を得るための1つの手段として、広報等を使い疑問や誤解についてきちんと町が答えて、理解していただくということも考えていきたいと聞いています。具体的に決まれば、町から特別委員会に協議されると思えます。

議会の回答

まちなか再生の事業内容によって、建設内容も変わってくるということが町民に伝わることなのか。町民の意向に沿った内容になっているのか、議会でチェックしてほしい。

参加者の意見

住民の方に理解していただくるように事業の内容について説明するよう要請していま



す。

町としては、丁寧に説明し、特にドラッグストアについては、良い形でいけるのか断念するのか、延ばすのか考えがあるとあります。

住民懇談会でドラッグストア本部から担当者が来て、町民と面談し、相手側の説明と町民からの意見を聴く場を持つべきだと特別委員会から町に要請しています。

定住対策について

参加者の意見

若者の定住対策について、もう少し視点を変えて力を加えてほしい。町内の企業に町外から通っている人が多くい

るが、その方々になるべく津別町に住んでもらえるような方策をとれないのか。

議会の回答

少しでも状況が合えば町内に住んでもらえるような施策を、もう少し問題意識を持ち委員会で話し合っていきたいと思えます。

まちづくり会社に

について

参加者の意見

せっかく立ち上げて発足した会社なので、議会がチェックして検討してほしい。

議会の回答

現在、赤字事業は止めており、ふるさと納税、移住定住は順調に動いているが、本来の役割は果たせていません。今後も注視していきます。

コミュニティバスに

について

参加者の意見

バスの巡回について、高齢者が多くなってきているため、情報提供を1回ではなく何度かしてほしい。

議会の回答

「議会報告会」 意見交換会

11月広報に折込み、12月の広報に詳しい詳細が掲載されますが、いただいた意見を担当にもお伝えします。

議会報告について

参加者の意見

議会報告の効果について、紙面が変わってきていることは十分承知しているが、紙面作りで工夫していることを聞きたい。

議会の回答

横文字などに解説を入れたり、文字ばかりだと固い印象になってしまうためイラストを入れるなど工夫し、できるだけ見やすく手に取っていただきやすい紙面を心掛けています。今年度から表紙をカラーにしましたが、今後も見やすく手に取っていただけるような紙面を作れるよう努力していきます。

木質バイオマス地域内 エコシステムについて

参加者の意見

再生可能エネルギーの開発問題で議論をしているが、どのくらいの状況の生産量、可

能性、継続性があるのか、見直しについて議会として町と話を進めているのか。

議会の回答

来年度事業費として、4億3千600万円ほどで協議されています。津別の基幹産業のため、資源を循環させるという目的でウッドロスマルシェというペレットの材料のチップだけでなく、山に眠っている材を持ち込んで公共施設のボイラー改修などにチップを再検討しているという話でした。8割ほどがペレットの原料として、残りを町外向けに生産するという説明を受けています。新しい事業については、山にある残材や枝などを有効に使うということで、バイオマス再生エネルギーを活用していくことになっていきます。

コンクリート収納について

参加者の意見

コンクリート収納はいつ頃から始まるのか。

議会の回答

12月から収納代行業者によって運用テストが行われ、問題がなければ令和4年4月から運用開始になります。

その他の「意見・要望」

参加者の意見

合葬墓とは、何のことがわからない。

議会の回答

町民が使える共同のお墓です。墓を維持できない方、今、墓を持っていない方が津別町で亡くなった場合、納めることができます。

議会報告会アンケート より

・まちなか再生事業について、これまで複数回議論されているが、町民・役場・商工会との折り合いはつかず結果的に停滞しているように感じる。期日をもって結論を促す必要があるのではないか。

・まちづくり会社について、定期的に株主総会を行い説明すべきではないか。

・夜の部に参加しましたが、参加者が少ないのが残念です。もっと多くの町民に議員の活動を知ってほしいと感じます。議会の基本的なしくみなどを説明するとい

う取り組みは、町民に「政治」を身近に感じてもらうという意味で、大変意義があると思います。

・町政の財政チェックを適格に行ってもらいたい。

・まちづくり会社の事業内容、今後の運営について、町民がわかりやすい広告等、ホームページ等にて、何がしたいのか発信強化を議会側から要望してほしい。

・町民の声をしっかりと町政に反映してほしい。

・提案型の政策を進めていただきたい。

・例えば経済の活性化を進める。(活力のある町づくりを願う)



議会日誌

10月

- 22日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望（札幌市）
- 23日 オホーツク圏活性化期成会 鈴木北海道知事への要望会（北見市）

11月

- 2日 第6回総務文教常任委員会
- 5日 第6回産業福祉常任委員会
- 9日 第2回決算審査特別委員会
- 6日 オホーツク圏活性化期成会管内選出道議への要望会・意見交換会（北見市）
- 11日 議会報告会（津別町）
- 17日 第7回まちなか再生事業調査特別委員会
- 18日 オホーツク町村議会議長会役員会（湧別町）
- 24日 第8回まちなか再生事業調査特別委員会
- 26日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 29日 北海道町村議会議長会正副会長会議・公務災害補償等組合議会臨時会・理事会（札幌市）

12月

- 1日 第10回議会運営委員会
第9回津別町議会臨時会
- 2日 第7回総務文教常任委員会
第8回議会広報常任委員会
- 3日 第7回産業福祉常任委員会
- 9日 第11回議会運営委員会
- 10日 第4回全員協議会
- 15日 第10回津別町議会定例会
第12回議会運営委員会
- 16日 第10回津別町議会定例会

1月

- 11日 第1回全員協議会
- 13日 第1回議会広報常任委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を求める意見書

【要旨】

新型コロナウイルスにおいては、昨年から感染拡大が収まらず、未だに世界全体に経済の低迷を招いており、国内では8月27日から21都道府県に「緊急事態宣言」が拡大され、「まん延防止等重点措置」も12県となるなど危機的な状況にある。

この影響で、観光・インバウンド需要などの落ち込みや人流の抑制によって中食・外食産業の低迷が依然として続いており、農業においても米や牛肉・乳製品、小麦、小豆、砂糖などの農畜産物価格の低下と需要の減少を招いており、価格回復と需要喚起対策の強化が不可欠となっている。

こうしたもと、本道においては7月から8月上旬にかけて記録的な高温・少雨の気候が続いたことから、全道にわたって農作物全般に被害が及んでおり、特に、馬鈴しょでは小玉傾向、てん菜では根部が肥大せず、玉ねぎでは変形などによる大幅な収量減少が見込まれている。また、野菜においては、収穫時期を迎え高温障害等で廃耕する圃場もあるほか、定植直後の苗において灌水作業が追い付かず枯れてしまうなど大きな影響が出ている。さらに、酪農・畜産においても高温・干ばつにより、飼料作物が生育停滞から枯れ始め、地域によっては収量が半分以下に落ち込むことも予想され、今後の生乳生産への影響が危惧されている。

よって、次年度に向けて営農継続が図られますよう要望する。

■地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

■加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書

は ぐ る ま

昨年、まちなか再生についての議論が白熱した一年でした。特別委員会や推進協議会等で、さまざまな立場からさまざまな意見が出ました。年末に執筆していますが、まちなか再生について、一定の方向性は出ましたが、全てが決まったわけではありません。より良いものにするため、まだ議論の余地があります。昨年の暴言の中に「女性が多い会議は時間がかかる」といった発言が女性蔑視の問題となりました。さまざまな人のなかに当然女性の声も重要になります。特に今回のまちなか再生は、買い物環境の整備が根本にあります。買い物をする機会の多いお母さんたちの意見が、しっかりと反映されることを期待します。

わが町は平成の大合併の時に、大きな論争がありました。さまざまな人がそれぞれの立場で、未来の町のためにしっかりと議論され、独自の道を歩み、結果良かったと思います。今回もしっかり話し合い、将来良かったと思えるように進めればと思います。

（小林）